

(5) しが子牙循環経済産業区資料館

項目	詳細
訪問日時	平成 23 年 11 月 2 日(水)9:00~9:30
概 要	<ul style="list-style-type: none">・ 静海県子牙循環経済産業区は、中国国家環境保護部によりリサイクル関係企業を集積する目的で作られたリサイクル団地の一つであり、中国北部では天津市静海県が唯一の指定地となっている。・ 1980 年代には個人事業者による廃棄物分解加工業が集積しており、海外から輸入される第 7 類の廃品（各種金属屑、廃電気機械、廃電気製品、廃電線、ケーブル等）、中古品の解体、加工を行う拠点となっていた。・ 静海県子牙循環経済産業区は、輸入廃電気電子機器の解体・加工・再利用の専門区として 2001 年にスタートした（スタート時 2 平方キロメートル）。・ 2008 年 5 月に国家主席と日本の福田首相が会見した。・ 2009 年度から北九州市の都市間協力により、家電リサイクルや自動車リサイクルなどの導入によるエコタウンの高度化に向けた計画を策定してきた。・ 現在は、国家級廃電子情報製品の回収・解体モデル基地、国家輸入廃棄物管理園區等の指定も受け、立地企業も 160 社を超えている。天津市内で発生する廃家電、廃電子機器、廃自動車が集約され、解体・リサイクルされている。現在いくつもの村（鎮）ができており、市民が移住しつつある。・ 2020 年までにリサイクル事業を核とした様々な都市機能を備えた 135 平方キロメートル規模のエコタウンが完成する予定。新エネルギー活用を積極的に導入し、地下熱利用やヒートポンプなども導入する。・ 雇用は 10 万人以上を見込む。・ 計画の総経費は、インフラ（50 億人民元）以外に 17~18 億人民元はかかる。